



令和7年度 胃がん検診のご案内

日 程		対象地区
6月24日	火	日詰1～10区
25日	水	日詰11～21区
26日	木	古館1～7区
27日	金	古館8～12区
28日	土	古館13～19区
29日	日	赤石1～10区
30日	月	赤石11～20区
7月1日	火	水分・志和
2日	水	彦部・佐比内
3日	木	赤沢・長岡
10月3日	金	日詰・古館・水分
4日	土	志和・赤石
5日	日	彦部・佐比内・赤沢・長岡

- 【受付時間】 午前6時30分～9時
 【会 場】 役場1階、はつらつホール
 【対 象 者】 40歳以上の人(年齢基準日:令和8年3月31日)
 【検査内容】 胃のレントゲン撮影(バリウム検査)
 【自己負担額】 40～69歳 : 2,000円
 70歳以上 : 500円
 ※おつりのないようにご準備ください
 ※検診料金免除については、次頁をご確認ください
 【持 ち 物】 胃がん検診受検票、本人確認できるもの(マイナンバーカード等)、靴を入れる袋
 ※受検票は過去3年間に胃がん検診を受けたことのある80歳未満の人に送付しています。
 (高齢になるとバリウムを誤嚥する危険性が高くなるため)
 ※受検票が届いていない人も受けられます。受診を希望する人は当日会場で受検票を配布します。

●混雑予防のために対象地区を設定していますが、お住まいの地区以外が対象の日でも受けられます(事前連絡不要)

【検診を受ける前にご確認ください】

ひとつでも当てはまる場合、 検診は受けられません	☐ 現在妊娠中、妊娠している可能性がある ☐ 胃・十二指腸の切除手術をした ☐ 腸閉塞や腸ねん転・腸管憩室炎・クローン病・潰瘍性大腸炎の既往がある ☐ 過去にバリウムによるアレルギー反応を起こしたことがある ☐ 過去にバリウムを誤嚥したことがある ☐ 腎不全で透析中、心不全の治療中 ☐ 85歳以上で、検診前日と前々日に排便がない ☐ 体重130kg以上(検査機器の体重制限および安全確保のため) ☐ ペースメーカー・植え込み型除細動器を装着している ☐ 自力で立った姿勢を保つことや撮影台の手すりをつかむことが難しい ☐ 胃の疾患で内視鏡やバリウムの検査を6か月以内に受けた、または受ける予定がある
当てはまる場合、 検診を受けられない可能性があります (胃がん検診の可否について 事前に主治医にご確認ください)	☐ 1年以内に腹部、心臓、頭部、肺、整形外科などの手術をしたことがある、または現在治療中である ※腹腔鏡手術や大腸ポリープ切除も含む(主治医の許可があれば受診可能) ☐ 持続型自己血糖測定器(リブレ等)を装着している ※取り外しの時期を調整、または検査前にご自身で取り外し、検査後に装着ができれば受診可能 ☐ 医師から大腸憩室と言われたことがある(主治医の許可があれば受診可能)

胃がん検診注意点 下記の表で確認のうえ、受診してください。

検査の前日

項目	可否	
 食事	△	21 時以降は絶食
 飲み物	△	就寝前まで可
 お酒	×	禁酒
 タバコ	○	喫煙可能
 お薬	○	通常通り服用可
 入れ歯 安定剤	△	夕食以降は使用しない

検査の当日

項目	可否	
 食事	×	絶食 ガム・あめ等も不可 ※一口でも食べてしまうと、胃が刺激され、正しい検査ができなくなります
 飲み物	×	絶飲 ※コップ 1 杯の水であれば、検査を受ける 2 時間前までに限り摂取可
 お酒	×	禁酒
 タバコ	×	禁煙
 お薬	△	糖尿病薬以外の常用薬は服用可能 ※検査を受ける 2 時間前までに水で 服用
 入れ歯 安定剤	×	使用不可
 服装		無地の T シャツ 上下ともボタン・ファスナー・金具等のない衣服

検診料金の免除について 下記①～④に該当する方は検診料金が免除となります。

- ① 身体障害者手帳1～3級、療育手帳および精神保健福祉手帳所持者（受付時に手帳の提示が必要です）
- ② 生活保護受給者（受付時に申し出てください）
- ③ 世帯全員が住民税非課税の人
（令和 7 年6月 1 日以降に発行される「令和 7 年度世帯全員用所得(非)課税証明書」を受付時に提示してください）
- ④ 40 歳の人(昭和 60 年4月1日～昭和 61 年3月 31 日生まれの人)